

1	
2	
3	□場所：
4	
5	
6	◇位置関係：
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	Nanase
14	
15	
16	Rinzaki
17	
18	
19	Tadano
20	
21	
22	Nanase
23	
24	
25	Rinzaki
26	
27	
28	
29	Nanase
30	
31	
32	
33	Rinzaki
34	
35	
36	

ホンカノおま。こ**Memories**：3人ともホンカノに決めた場合

主人公の自宅

- ・七瀬あき…正面近距離
- ・凜崎かおる…右に囁く
- ・唯野めぐみ…左に囁く

□ドア&近寄ってくる

「よっす、きたぞ〜」

「あ、先輩の先輩だ」

「ふええ…七瀬さん。つてことは、3人とも…」

「んで、なんであんたたちがいるわけ…」

「くす、ここに集まったということは、つまりそういうことです。
私たち全員を選んだってことですね、先輩？」

「はあ？そんな反則ってか…。
ねえあんた、本気なん？」

「先輩はですね。全員を幸せにするつもりみたいです。
ほんと、都合良すぎますね」

1 **Tadano**
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

「えと…ここに**3人**のことが大好きだから、
決めきれなかったみたいで…」

「うぐう…あんた、ほんとにそれでいいの。
全員幸せにするって、めっちゃ大変なんだかね…。
みんな、ほんとはすっげえ良い子だし…」

「くすくす…七瀬先輩、意外と純情ですね。
なんか怖いなーと思ってましたけど、可愛げあるじゃないですか」

「ちよっつ、また先輩を煽って…」

「うっつ、ほんとあんた、隙あらばあたしに齒向かってくんね。
…んで、やっぱり記憶はその…戻らなかったんだ」

「その…私たちとの関係とかは…なんとなく分かっちゃったみたいです。
ひとまず先輩は…
良い人振ってる変態野郎であることは判明しました」

「でも、一気に二股とかはしてないと思うし…多分。
付き合ってた順番とかまでは…分からないけど」

「うっ、あんた、そういうところは誠実だったりするかね。
…まあぶっちゃけ、記憶無くしたんをきっかけに…
みんな勢いでやっちゃまった〜感あるし、さ」

Rinzaki

「そう…ですね。
私たちも…本気で先輩のことが心配で、
先輩のことが大好き…だから」

Tadano

「うん、私もですけど…。
やっぱりみなさん…本気で思いやってるんだ」

Nanase

「じゃあ、む。
これでいいんじゃないかな…つって。
みんなの優しいとこ…あたし好きだかん…ね」

Rinzaki

「私も同意です。
3人との関係性は一旦水に流して、責任を持って全員を幸せにする。
そういった選択も、きっと間違っていないと思います。」

Tadano

「そうですね…あなたが幸せになれるなら、それがベストですから。
私も賛成しますっ」

Nanase

「んじゃ、決まりね。
あたしたち3人とも、本当の恋人同士だかんね」

Rinzaki

「それじゃあ先輩…今日からは3人ともホンカノです。
偽の彼女なんて、もう誰1人いないんです」

Tadano

「んう…嘘の恋人から、本当の恋人になったもんね」

Nanase

「よしっ、そんじゃこれからはあ…にしし。
私たちとのハーレム恋人ライフだかんね♡」

Rinzaki

「くすくす、3 人分の精子…全員で搾り取っちゃいますから、
覚悟して下さいね♡」

――（ここまでイントロ。ここから複数キャラパート）

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

1	三人パート①
2	
3	Tadano
4	
5	
6	
7	Nanase
8	
9	□脱衣
10	
11	
12	Nanase
13	
14	
15	Rinzaki
16	
17	
18	
19	
20	Tadano
21	
22	
23	Nanase
24	
25	
26	
27	Rinzaki
28	
29	
30	
31	Tadano
32	
33	
34	
35	Rinzaki
36	

「くす、それじゃあ全員で、

彼氏くんのおちんちんを甘やかしちゃます♡」

「んしょ」

「うわっ、もう反り返ってっし…ほんとデカすぎな笑」

「ふふ、都合良すぎの変態ですね。

一夫多妻の時代じゃないんですから…

こんな関係、絶対バレちゃだめですよ？」

「寄ってたかっておちんちん見られるの、やっぱり興奮しちゃうよね…」

「誘惑されて興奮しちゃってんだあ。

まだ触ってもないのにさあ、めっちゃおっきくなってんね笑」

「ふふ、勝手にチンポ勃起させた罰として、

変態の先輩をいじめちゃいます」

「じゃあ…どうしよっか。

んう…一緒にできること…」

「ふふ、そうですね。

2人で囁きながら、根本を抜いて…1人はキスしながら手コキ…

1
2
3
4 **Tadano**
5
6
7 **Rinzaki**
8
9
10 **Nanase**
11
12
13 **Rinzaki**
14
15
16 **Tadano**
17
18
19
20
21 **Nanase**
22
23
24
25
26
27 **Rinzaki**
28
29
30 □手コキ
31
32
33 **Nanase**
34
35
36

「これでしょう」

「そっか、それだと**3**人でも出来るし…すごく興奮しちゃいそう♡」

「ふふ、これでいきましょうか」

「んじゃ、このままキスしながら…したげるかね」

「くす、右手で扱きながら、先輩の手をぎゅってしちゃいます」

「んしょ…凜崎さんと一緒に…甘勃起おちんぼ包んじやうから…」

□挿入音

「くす、**2**人のお手手まんこ、絶対気持ちいいしよ。

カリの段差に挟んでつと…くすくす」

□挿入音

「くす、いきますよ、先輩」

(ゆっくり)

「はあああむっ…えれれ、えれれれれ…
れっろおれっろおれっろおれっろお♡
んちゅうっぱあ。
んはあっっ…んうう…はああっっ…んうう…はあっっ…んうう」

Tadano

「わっ七瀬さん…いきなりペロチューしちゃってる…。
なんか、すっごくえっち…かも」

Rinzaki

「ふふ、私たちも負けてられませんね。
んしょつつほら…2人のお尻…触っていいですよ…」

□揉む(衣擦れ)

Tadano

「んつつあつつ…すっごい手つき。
2人同時だと、やっぱり興奮するんだ…」

Rinzaki

「くす、んはあっ…んうう。
女の子に気持ち良くしてもらいながら…お尻揉んじやうなんて、
ほんと変態ですね」

Nanase

「んうつつ…2人ともっ、ずるいかんね…。
ほら、あたしのおっぱいもっ…揉んでよ。
※この喘ぎシーンを耳舐めシーンと合わせます。大体2分くらい

んつつきゅん…んうっ…んはあっ♡
あつつちよ…乳首擦れるの、だめだかんつつんきゅんつつ…♡
んはあつつ…んうう…はあ…んううつつくん…♡
んはあつつ…んううつつ…んくつつあんっ…♡
んっふう…んうう…はあ…んうう…んはあつつ…
んくうつつ…んう♡
ほんと、ゆっくり揉んだり…急に強くしたり…触り方やらしすぎな…」

Rinzaki

「ふふ、今のうちに両耳もしてあげましょうか」

1 **Tadano**

「じゃあ、お耳ぐぼぐぼってしたげるから…いっぱい気持ち良くなって」

2

3

4

◇耳舐めシーン…大体**2**分くらい

5

6 **Rinzaki/Tadano**

「はあああむっっ…えれれ、えれれれれれ…」

7

れっろおれっろおれっろおれろお♡

8

んはあっっ…んうう…ぞっりゅぞっりゅぞっりゅぞっりゅ…♡

9

んはあ…ぐぼぐぼぐぼぐぼ…えれれ、えれれれれ…♡

10

んうう…んふう…ぞっりゅぞっりゅぞっりゅぞっりゅ…♡

11

れるれるれるれるれるれるる…

12

んはあ…んちゅろおっふは」

13

14

15 **Rinzaki**

「くす、私たちのおっぱいも…揉んじゃいますか」

16

17

18 **Tadano**

「えへへ、メロンおっぱいむぎゅってしながら、

19

おちんちん幸せになろ♡」

20

21

22 **Rinzaki**

「んはあっっ…んう。

23

ふふ、ほんと、**2**人分のおっぱいなんて、贅沢すぎますね」

24

25

26 **Tadano**

「んうっあん…んあっ…。

27

くす、**4**つのメロンおっぱい、**2**人分だよ。

28

自由に揉んじゃおうね」

29

30

31

32

33 **Nanase**

「んう、はあああむっっ…えれれ、えれれれれ…」

34

んちゅうばあ…んちゅうっぱあ…。

35

はあむ…えれれ、えれれれれ…」

36

んううう…れっろおれっろおれっろおれっろお…。

※七瀬のキスシーンに合わせて、**2**人で吐息。大体**2**分くらい

1 んはあつつんうう…ほあ、だえひこうかんひやお
2 えれれ、えれれれれ…れええええ…んちゆるおおつぷは…」

3
4 **Rinzaki/T**
5 「んはあつつんうう…はあつつ…んくうつ…んうう…
6 あんつつ…んきゅん…んうう…はあつつ…んく…
7 っはあつつ…んうう…っふうう…んあつ…んう…
8 はあんつつ…んやんっ…んうう…はあつ…きゅん…
9 んはあつつんうう…はあつつ…んきゅつつ…んうう…」

10
11 **Nanase**
12 「ね、手の厚みで圧迫しながら…
13 カリ首ちゅこちゅこーってされんの、好きっしょ。
14 くすくす、もう我慢汁でぬめぬめになってっし…♡」

15
16 **Rinzaki**
17 「ふふ、そろそろ出ちやいそうですか？
18 チンピクすっごいですよ、変態」

19
20 **Tadano**
21 「3人一緒にされたら、もう我慢できないよね…。
22 いいよ、いっぱい気持ちいの出しちゃおっか」

23 □手コキ(やや速め)

24
25
26 **Nanase**
27 「くすくす、みんな一斉に早くなってっし」

28
29 **Rinzaki**
30 「ふふ、先輩の責め方、分かってるじゃないですか」

31
32 **Tadano**
33 「っうやって緩急つけてあげると…すっごいビクビクしちゃうもんね」

34
35 **Nanase**
36 「んっ…ほおら、白いのびゅっびゅさせたげるかんね」

1 Rinzaki

「ふふ、気持ちいのがってきますね」

2

3

4 Tadano

「ほら、もうちょっとだけ我慢だよ。
おちんちん頑張ろ」

6

8 Nanase

「あっすいっ…尿道からどくどくって、精液溜まってきてんね」

9

10

11 Rinzaki

「ふふ、血管びきびきって脈打って、エグい見た目になってますね」

12

13

14 Tadano

「あっもうだめなの？おちんちん気持ちい気持ちいしちゃう？
くす、白いのしーしーしまちゅか？」

15

16

17

18 Nanase

「ほら、最後の追い込み、やってくかんね」

19

20

21 Rinzaki

「ふふ…はあむっ…」

22

23

24 Tadano

「んはあ…はああむっ…」

25

26

27 Nanase

「んう…はあむっ…」

28

29

30

31 全員：

32

33

34

35

36 Rinzaki

舐め音の合わせ。大体1分くらい。
「はああむっ…んうう…えれれ、えれれれれれ…。
ぞっりゆぞっりゆぞっりゆぞっりゆ…んはあ…んうう。
れっろおれっろおれっろおれっろお…んっちゅろおっふは…」
「くす、あったかくて気持ちいの…溜まりきってますね」

1	Nanase	「あっ…あっっ…めっちゃ暴れてる。ね、これもうだめっしょ…くすくす」
2		
3		
4		
5	Tadano	「いいよ、白くて濃厚なえちえちザーメン…発射しちゃお。あっもう出るね。気持ちいの出ます。おちんちんぴゅっぴゅします」
6		
7		
8		
9	Nanase	「あっっぴゅくびゅく気持ちいの出ます。ほら、チンポから特濃ザーメン発射していいかんねっ」
10		
11		
12		
13	Rinzaki	「ふふ、いいですよ。びゅくびゅくうって、惨めに出して下さい。変態」
14		
15		
16		
17	全員	「ぴゅっぴゅっぴゅ…びゅくびゅくびゅくう」
18		
19		
20		
21	Rinzaki	「んきやんっすっすっい量ですね」
22		
23		
24		
25	Nanase	「あんっ…うわっ顔まで飛んでっし」
26		
27		
28		
29	Rinzaki	「はあんっ…すっごくあったかいの、溢れ出ちゃってる…」
30		
31		
32		
33	Nanase	「ふふ、先輩、これで終わりじゃないですよ？」
34		
35		
36		

「えへへ、3人全員は無理だと思うけど…」

1	Rinzaki
2	
3	
4	
5	
6	
7	Nanase
8	
9	
10	
11	Tadano
12	
13	
14	
15	Nanase
16	
17	
18	Rinzaki
19	
20	
21	Tadano
22	□脱衣(3人)
23	
24	
25	Nanase
26	□近寄る
27	
28	
29	Rinzaki
30	
31	
32	Tadano
33	
34	
35	
36	

「くす…そうですね。

代替案ですが、こういう感じでしちやいますか。

3 人分の刺激に耐え抜いて、最後は全員のカラダに白濁を注ぐ…
外だしえっちです」

「ま、どのみちあなたは全員気持ちよくさせないとだめだかね♡
んで、射精もちゃんと我慢してもらおうかね♡」

「えへへ…それだと平等って感じだし…
みんな気持ち良くなれるから賛成かな」

「んうっしょ…」

「んう…はあ」

「んう…しょつと」

「んはっ…んうう…準備、できたかね」

「ほら、むぎゆうつてしてあげて下さい、先輩」

「可愛い先輩と…座ったまま向き合って…いっぱい甘えちやおうね」

□挿入&ゆっくり動く

Nanase

「んはあっつ、んきゅんっ…♡
いいよっそのまま動いて…んはっつく…んう。
んはあっ…んううっ…んきゅん…んう…
んっんっん…ああんっつ…んうう」

Rinzaki

「くす、ほんと純情ですね。
いつもの強気な感じと違って、すっごく素直じゃないですか」

Tadano

「ふふ、すっごく密着して…息も荒くなってます」

Nanase

「んぐっ言いたい放題いいやがって…。
んはあっつんきゅうっつんう…。
でも…みんなに見られながらだと…なんかいつもより興奮するかん…」

Rinzaki

「ふふ、先輩可愛いじゃないですか」

Tadano

「えへへ、いっぱい気持ち良くなろうね」

Nanase

「んはあっつ…んきゅっんう♡
はあっつんうう…んううっつはあっつんうう…♡
んきゅっ…んううっつ…はあんっつつく…♡
ああんっつしゅきっ…本気チンポでごりごりされんの…しゅきだかん…
んきゅん♡んはあっんうう…♡」

Rinzaki/T

◇耳舐めシーン(↑の喘ぎに合わせる)
「はああむっつ…んちゅう…んちゅう…えれれ、えれれれ…。
んはあ…んうう…ぞっりゅぞっりゅぞっりゅぞっりゅ…くすくす♡
んちゅうっぱあ…」

Nanase

「んはあつつんきゅんつつんうう…♡
んうつつもつつそろそろ…きちやいそ…んきゅん♡
んううつつはあつつんうう…♡」

Rinzaki

「くすくす、2人とも、ビクビクって痙攣してきましたね」

Tadano

「えへへ、一緒に気持ち良くなっちゃえ…」

◇絶頂シーン：押し殺すような喘ぎ

□パンパン(やや速め)：フィニッシュで腰を押し付けるようなSE

Nanase

「んっんっんっん…あつつ臆奥ぞりぞりすんの…だめだかんっっ…♡
んきゅうんつつぐうん…お”っ♡
もうだめかもつつ…きちや…んっんっんっ…いっぐ…いぐいぐ…
いっちやうかん…♡
耳、塞いで…ああんっぐうう…きっちや…いきゅ…んっきゅううんっ♡
んぐうんっっ♡お”ほっっ♡んうう…♡
んはあつつ…んうう…はあつつ…ふうう…♡」

Rinzaki

「すっ…腰押し付けられて、連続イキしちゃってますね。
ふふ、完全に弱点が分かってる動きです。
ほんと変態ですね、先輩は」

Tadano

「っわあ…すっ…赤ちゃん作る勢いです。
本気のおちんちん…ごりごり押し付けて、
子宮と鈴口がちゅっちゅうって♡」

Rinzaki

「んはあつつ…んうう…はあつつ…んうう…はあ」

Tadano

「んはあつつ…んう…んっふう…んはあ…んうう…はあ」

□ここまでのセリフは絶頂シーンに合わせながら

1	◆位置関係…
2	
3	
4	
5	
6	
7	Rinzaki
8	
9	
10	
11	
12	Nanase
13	
14	
15	
16	Tadano
17	
18	
19	
20	Rinzaki
21	
22	
23	
24	
25	
26	Nanase/R
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	Rinzaki
34	
35	
36	

・凜崎かおる…正面近距離

・七瀬あき…右に囁く

・唯野めぐみ…左に囁く

□衣擦れ…移動をほのめかす

「くす、次は私ですね…んしよ。

んっっ…ああっ…くうん…んっきゅ…んう♡」

□挿入&ゆっくり動く

「くす、くーんって、犬みたいな声あげてんね♡

チンポには従順なんかなあ…っって♡」

「ふふ、優しくおちんちん擦られたら、

すっごい気持ち伝わってくるもんね」

「んきゅうつっんうう…なんか、いつもよりおっきくないですか…んう。

くす、いっぱいおまんこ擦って…射精我慢してますもんね…。

ほら、っぎゅうつてしたげますから、ちゃんと耐えて下さい…

んきゅん…んあっ…♡」

「はああむっっ…んううっちゅ…んちゅうっぱあ…。

んう…えれれ、えれれれ…ぞっりゅうぞっりゅうぞっりゅう…

れろれろれろれろ…。

んはあ…んうっっ、んちゅろおっぷは」

※喘ぎと耳舐めを合わせる

「んはあっっんきゅ…んうう…カウパーダダ漏れです…

んきゅうつっんは…♡

すっごく…こりこりしたとこ…擦れてます…

んきゅうつっんううっっはあ…♡

1 んきゅっんうう…ああんつつ…んぐうんっんう
2 んつつああんつつ…んぐうん…んきゅ…んう♡

◇位置関係…

- ・凜崎かおる…正面**30cm**
- ・七瀬あき…正面**30cm**(右寄り)…やや下
- ・唯野めぐみ…正面**30cm** 近距離(左寄り)…やや下

Nanase

「くす、失礼します♡
はああむ…んうう…っちゅう…えれれ、えれれれ…くす♡」

Tadano

「ふふ、それじゃあ私は…こっちです♡
凜崎先輩のクリトリス、いじっちゃいます♡
きゅっきゅっきゅう♡」

Rinzaki

「んきゅっっんぐうん…っつお”っ♡
ちよっ待っ…だめっ…んきゅうっ♡
んはあっっ…ああんっっきゅうんっ…♡」

Nanase

「ね、こいつの本気チンポでぞりぞり擦られながらあ…♡」

Tadano

「私たちのねちっ…い責めで、素直になっちゃえ♡」

Rinzaki

「ああんっっ…♡もっっはんそくですからっ♡
んきゅうんっっんぐ…♡
ああんっっきちやっ…もっだめですっ♡
しゅきいっ♡先輩…しゅきだから…♡
んきゅ♡っっんは…♡
もっど、動いてほしい…ですっ」
□パンパン(やや速め)

Rinzaki

「んっんっんっん…んきゅっきゅっきゅっきゅうんっ♡
いっちやつっ…きちやいますっ…から。
あっあっあっあっんぐうんっ♡
だめっつもうだめっっしゅきいっ♡
いくいくいく…んっきゅうんっ♡…んぐうっっお♡
んふうっっ…ああんっっ…んううっ…。
はあっ…はあ…んふう…。
ほんと、獣なんですから、変態」

Nanase

「はああむ…んはあ…んうう…んちゅう…んちゅうちゅちゅ…
えれれ、えれれれれ…れっろおれっろおれっろおれっろお…
んちゅっぱあ♡
んはあっっんうう…っはあっっ…んううう…はああ…。
んうう…っはあっっ…んううっ…はあ…」

Tadano

「ふふ…んうう…くりくりくりくり…くりくり…くりくり…
きゅっきゅっきゅう…♡
んう…かりかりかり…くすくす♡
んはあっ…んうう…はあ…んうう…はあ…んうう…。
んふう…ああっ…んうう…ああっ…んう…っふう…」

◇位置関係…

- ・唯野めぐみ…正面近距離
- ・七瀬あき…右に囁く
- ・凜崎かおる…左に囁く

□衣擦れ…移動

Tadano

「それじゃあ最後は…たくさんママに甘えちゃおうね。
んはあつつんきゅう…んうう♡」

□挿入&ゆっくり動く

ふふ、ママのふわふわボディ…抱き心地はどうか…。
えへへ、こうやってむぎゅうってすると…

他のことがどうしてもよくなるくらい…気持ちいいもんね」

Rinzaki

「くす、そういうプレイも好きなんでちゆか、変態♡」

Nanase

「ほんとそれな…まじで赤ちゃんみたいに甘えとるし…♡」

Tadano

「んはつつんきゅう…んうう…♡

あんつつ…んくうん…すっごいね…もうおちんぼビキビキになって…
そろそろ限界だもんね。

んはあつつんううつつくうん…♡

でも、ママを気持ちよくさせるために、
いっぱい我慢してくれてるもんね…♡」

Rinzaki/N

「はあああむつつ…んうう…えれれ、えれれれ…♡

んはあつつ…んううう…ぞっぴりゅうぞっぴりゅうぞっぴりゅう…

んはあ…れっろおれっろおれっろおれっろお…んちゅうおっぷはあ…」

Tadano

「んきゅっ…んぐつつんうう…♡

んあつつすごっ…カウパーびゅくびゅくって…かっこいいね。

はあんつつんきゅつつんうう…はあっ…♡

ああんつつんきゅう…滑り、すっごく良くなって…

奥ぞりぞり擦れちゃ…んきゅつつああんつつんきゅ…♡」

1	Rlnzaki
2	
3	
4	
5	
6	Nanase
7	
8	
9	
10	
11	Tadano
12	
13	
14	
15	
16	
17	Rlnzaki/T
18	
19	
20	◇位置関係…
21	
22	
23	
24	Nanase
25	
26	
27	Rlnzaki
28	
29	
30	Tadano
31	
32	
33	Nanase
34	
35	
36	Rlnzaki

「くす、臆奥までマーキングしちゃってますね…。
自分の女だって分からせるために、
チンポの匂い擦りつけてますね…変態♡」

「ほんと、ばぶばぶは恵ママのことだいしゅきでちゅねえ…♡
ほら、臆奥ぐりぐりさせて、気持ちよくさせたげなよ…♡」
□ぐりぐり動く音(腰押し付けてるような)

「んああっくんきゅうんっお”ほっ…♡
しゅき…腰ぐりぐり押し付けて…んぐうっっお”♡
本気おちんぼぐりぐり…上手だよっ…んきゅんっああんっ…♡
もっだめっっ…んうううっ…んくうっんう♡」

「んはあっくんうう…はああっっ…んううっ…はあっっ…んうう…。
んうう…はああっっ…んうう」

・唯野めぐみ…正面近距離
・七瀬あき…正面近距離…右寄り(やや下側)
・凜崎かおる…正面近距離…左寄り(やや下側)

「くすくす…はあああむっっ」

「くすくす…はあああむっっ」

「ちよっつうそっ…んきゅうんっ♡」

「くす、メロンおっぱい頂きまあす」

「くす、甘くてクリーミーな味です」

Nanase/R

「んはあっっ…んちゅうっぱあ…んちゅうっぱ…えれれ、えれれれれ…
れっろおれっろおれっろおれっろお…んちゅっちゅっちゅう…
んちゅうっぱあ…♡
んちゅうう…んちゅううう…っばあ♡
んはああ…えれれ、えれれれれれ…
ぶっちゅうっぱあ…ぶちゅううっぱあ…
んちゅぷうう…んちゅう…ちろちろちろ…♡
んはあっんうう…はああっ…んううう…はあっ…んううう…はあっっ…
んううっっ…はあっっ…んうう…」

Tadano

「んきゅううんっ♡…だめ…。
ただでさえ奥ごりごりってされてるのに…
両方のおっぱいは…だめですっっんきゅうう…んうう♡
もっだめえっっ。
いつちやつつきちやうから…♡」
□パンパン速め

お"っ?お"お"っ?
うぐううんっっお"お"♡
いきなり本気ピストンっつきてますっっ…んきゅうん♡
もっだめですっっ…限界っでしゅ…♡
ママと一緒に…んっんっんっんっんっんっんっんっんっんうう♡
あっっんぐうっっんぐっっ…んうう…♡
おっおっおっおっ…ぐうっ…んきゅん♡
いきゅっ…いきま…んつきゅううんっっんぐうっっお"♡
んきゅうっ…んうう…はああっっ…んふう…ふう…♡」

Rinzaki

「くすくす、外だしですよ?
今日は絶対中に出しちゃだめですよ?
あっ出ます、出ますね、おちんちんから気持ちいの出ます」

1	Nanase
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	◇位置関係…
10	
11	
12	
13	
14	Rinzaki
15	
16	
17	
18	Nanase
19	
20	
21	
22	Tadano
23	
24	
25	
26	Rinzaki
27	
28	
29	Nanase
30	
31	
32	Rinzaki
33	
34	
35	
36	

「ほら、イク寸前にチンポ抜いて…3人めがけてびゅっびゅう♡
どつろどろに濃いザーメン…ホンカノ3人にびゅくうって、
出しているかんね♡

ほらっ、んっんっ、もう出ちやうっしょ。
ほら、白くて気持ちいの出そ？」

□射精シーン(とんでもない量と回数を音で表現)

・唯野めぐみ…正面近距離

・七瀬あき…正面近距離…右寄り

・凜崎かおる…正面近距離…左寄り

「ふふ、すっごくいい量ですね…私たちとの約束も守れましたし…
かっ♡いいです♡」

「んね、あんたの3人とも幸せにしたいって気持ち、
すっげえ伝わったし♡」

「えへへ…みんなすっごく感じてて、4人とも思いやりがあったから、
すっごく気持ち良かった…」

「ふふ、そうですね。心まで満たされちゃいました。なんて」

「あへ、またそうやってはぐらかしてっし…」

「ふふ、記憶をなくしたからこそ、また新しい関係でやり直せる。
そういうの悪くないかもです」

1 Nanase
2
3
4
5 Tadano
6
7
8 Rinzaki
9
10
11
12
13 Nanase
14
15
16
17 Rinzaki
18
19
20
21 Tadano
22
23
24 Nanase
25
26
27 Rinzaki
28
29
30 Tadano
31
32
33 Nanase

「まっ、あたしたちも仲良くなれたっつーか…
だから、これからも一緒に、ね」

「えへへ、みんな相思相愛って感じだし」

「ふふ、まあ、先輩が変態なことは変わりませんが。
今までよりも賑やかにはなるかもですね。
くす、良くも悪くもって感じですけど」

「ほんと、素直じゃないっつーか。

ま、あんたのそういうところ、割と好きだったりするかんね…にし」

「なっ、まじまじと言うのやめて下さい…。

七瀬先輩、かつこいいから…勘違い、しちゃうじゃないですか」

「ふふ、油断したら取られちゃうかもだ」

「その…改めてだけど、これからもよろしくね」

「これからも私たちを幸せにして下さいね、先輩」

「えへへ、いっぱい甘え合って、大変なことも乗り越えてこうね」

「はいっんじゃ、今日は解散っ」